

=====

CHINA IP Newsletter JETRO 北京事務所知的財産権部 知財ニュース
2018/11/13号 (No. 290)

=====

【最新ニュース・クリッピング】

○ 中央政府の動き

1. 第25回日中特許庁長官会合が京都で開催(国家知識産権網 2018年11月2日)
2. SAMR 馬正其副局長がモロッコ、カメルーン、ジンバブエを訪問(国家市場監督管理総局公式サイト 2018年11月2日)

○ 地方政府の動き

1. 第15回上海知的財産権国際フォーラムが開幕(国家知識産権網 2018年11月7日)
2. 2018国際知的財産権制度巡回シンポジウムが広州、珠海、東莞で開催(国家知識産権網 2018年11月5日)
3. 「一帯一路」知的財産権連盟が西安で設立(国家知識産権網 2018年11月2日)
4. 広州で2018知的財産権投融资発展サミットが開催(国家知識産権網 2018年11月2日)

○ ニセモノ、権利侵害問題

1. 商標局、商標出願1万6000件を拒絶査定、溜め込み疑いで(国家知識産権戦略網 2018年11月2日)

○ 統計関連

1. 1~9月、知的財産権使用料の輸入額が24%増=商務部発表(中国打撃侵権工作網 2018年11月8日)
2. 「自動車企業専利イノベーション指数」発表、特許出願の質が改善(国家知識産権戦略網 2018年11月2日)

○ その他知財関連

1. 厦門で「インターネット知的財産権とイノベーション大会」が開催(中国打撃侵権工作網 2018年11月5日)
2. 中関村フォーラムが北京で開催、知的財産権に注目集まる(中国知識産権资讯网 2018年11月2日)
3. 中国自動車産業知的財産権年会在陝西・宝鶏で開催(中国知識産権资讯网 2018年11月2日)

=====

●ニュース本文

○ 中央政府の動き

★★★1. 第25回日中特許庁長官会合が京都で開催★★★

11月1日、第25回日中特許庁長官会合が京都で開催された。日本国特許庁(JPO)からは宗像長官、中国国家知識産権局(CNIPA)からは申局長が出席した。

両長官は、法律制度交流、審査官相互派遣、自動化、意匠、審判、人材育成などの分野における過去一年の協力事業を回顧し、特許審査ハイウェイ(PPH)試行プログラムを2023年10月31日にまで期間延長することで合意した。また、商標分野での協力強化、PPH協力内容の充実、人材相互派遣体制の構築、今後の協力事業などについて協議した。

申局長は会談において、特許分野の法律制度とその運用、専門家交流、PPH、意匠、審判、人材育成などの現有的協力分野の外、商標、地理的表示などに協力分野を拡大させ、モノのインターネットや人工知能を含む新技術分野での交流を強化したいと表明した。

(出典：国家知識産権網 2018年11月2日)

★★★2. SAMR 馬正其副局長がモロッコ、カメルーン、ジンバブエを訪問★★★

10月21日～31日、国家市場監督管理総局（SAMR）馬正其副局長率いる代表団がモロッコ、カメルーン、ジンバブエを訪問した。

モロッコで馬副局長とモロッコ競争委員会のアブドラ・ベナマー委員長は協力了解覚書を交わした。また、企業登録、消費者権益保護、品質管理などに関する協力協定をモロッコ産業・貿易・投資・デジタル経済省と締結した。

馬副局長はまた、アフリカ知的財産機関（OAPI）とアフリカ広域知的財産機関（ARIPO）の責任者とそれぞれ会談を行い、知的財産権の総合的執行、人材育成などについて交流を行った。

ジンバブエで馬副局長はジンバブエ商工大臣と会談を行い、協力了解覚書を交わした。双方は会社登録、零細企業支援、競争、消費者権益保護などの分野で協力を強化することで合意した。

(出典：国家市場監督管理総局公式サイト 2018年11月2日)

○ 地方政府の動き

★★★1. 第15回上海知的財産権国際フォーラムが開幕★★★

11月6日、第一回中国国際輸入博覧会の関連イベントの1つとして、第15回上海知的財産権国際フォーラムとグローバル知的財産権保護・イノベーション発展大会が上海国家コンベンション&エキシビジョン・センターで開幕した。国家知識産権局（CNIPA）申長雨局長、世界知的所有権機関（WIPO）フランシス・ガリ事務局長、国家商務部の李成鋼部長助理、上海市人民政府の陳群副市長が開幕式に出席し、演説した。WIPO 王彬穎事務次長が開幕式に出席した。

WIPOと20数国・地域の代表が会議に参加し、「イノベーション・発展と知的財産権保護」などの課題をめぐって討議を行った。

申長雨局長は会議開幕の前に、ガリ事務局長と会談を行い、技術イノベーション支援センター協力プログラム、中国専利金賞・商標金賞、WIPOと上海市による知的財産権協力などについて意見を交わした。

(出典：国家知識産権網 2018年11月7日)

★★★2. 2018 国際知的財産権制度巡回シンポジウムが広州、珠海、東莞で開催★★★

珠江デルタ地域の企業、研究機関による欧州知的財産権制度などへの理解を深める狙いで、10月30～31日、2018 国際知的財産権制度巡回シンポジウムがそれぞれ広州、珠海、東莞で開催された。広東省市場監督管理局（知識産権局）が主催し、広東省知的財産権研究と発展センター、国家知的財産権研修訓練（広東）基地が運営を担当した。

シンポジウムでドイツからの弁護士が「欧州の特許保護制度とドイツの展示会における権利保護と早期警報」などをテーマに講義を行い、▽欧州における特許の出願、ポートフォリオ、保護▽ASEAN 特許審査協力（ASPEC）プログラム▽ASEAN 諸国特許出願戦略▽ドイツの展示会における知的財産権保護と早期警報——などの内容を説明した。広州、珠海、東莞を含む珠江デルタ地域の企業、サービス機構、大学、研究機関の関係者500人以上がシンポジウムに参加した。

(出典：国家知識産権網 2018年11月5日)

★★★3. 「一帯一路」知的財産権連盟が西安で設立★★★

2018 知的財産権・シルクロード・フォーラムの一環としてこのほど陝西・西安市で開催された、「一帯一路」ハイテク知的財産権と文化多様性の法律問題に関する国際シンポジウムの開幕式で、西安交通大学知的財産権学院が発起した「一帯一路」知的財産権連盟が正式に発足した。

連盟は国内外の知的財産権教育、研究、サービス機関が加盟する非政府、非営利団体で、開放的で国際化された知的財産権交流、協力の場を提供し、「一帯一路」沿線国の間における業務交流、人材育成、研究協力、文化交流、政策研究などの交流、協力を促進することを趣旨としている。

シンポジウムにおいて、「ハイテクと知的財産権」、「一帯一路における文化多様性の価値」、「漢方医薬の伝統的知識の法的保護」などのテーマについて、参会者らは討議を行った。

(出典：国家知識産権網 2018 年 11 月 2 日)

★★★4. 広州で 2018 知的財産権投融資発展サミットが開催★★★

10 月 30 日、広東省広州で 2018 知的財産権投融資発展サミットが開催された。広州市知識産権局、広州開発区知識産権局、金融工作局の責任者と、広州開発区にある金融機関、知的財産権サービス機関、企業およそ 100 社の代表が参加した。

中国建設銀行の広州経済技術開発区支店は複数の融資機構、商標サービス機構とそれぞれ知的財産権担保融資に関する戦略的協力協定を締結した。中小企業を対象とした知的財産権担保融資の商品開発、コンサルティングサービスなどで協力を行う。同支店はまた、企業 13 社と総額 1 億 2600 万元に上る知的財産権担保融資の協力協定を締結した。

市知識産権局・協調合作処の責任者はサミットで、広州市は今後、知的財産権の運営推進に注力し、知的財産権の運用を促進し、知的財産権取引サービス機構の発展を支援する方針であると説明した。

(出典：国家知識産権網 2018 年 11 月 2 日)

○ ニセモノ、権利侵害問題

★★★1. 商標局、商標出願 1 万 6000 件を拒絶査定、溜め込み疑いで★★★

国家知識産権局・商標局がこのほど、商標溜め込みの疑いがある商標出願 1 万 6000 件について商標法第 4 条の規定に基づいて拒絶査定をしたと発表した。

商標局は、商標溜め込みなどの非正常出願に厳格で迅速に対処する方針を固めた。広州のある貿易会社と情報技術会社が不正な目的で商標出願を大量に行ったのを受け、同局は 8 月 17 日、悪意による商標出願、商標溜め込みなどに関するシンポジウムを主催し、知的財産権専門家と規制措置などについて討議を行い、これを取り締まるべきとの意見で合意に達した。

商標局は今後、商標登録出願の各段階を綿密に監視するとともに、司法部門との意思疎通を進め、商標の悪意による先駆け登録や商標溜め込みなどの規制に関する法律の適用基準の統一化に取り組むこととしている。

(出典：国家知識産権戦略網 2018 年 11 月 2 日)

○ 統計関連

★★★1. 1～9 月、知的財産権使用料の輸入額が 24%増＝商務部発表★★★

商務部が公式サイトで発表したデータによると、今年 1～9 月、中国の役務輸出入総額は 3 兆 8825 億元に達し、前年同期比 10.5%増加した。この中で、保険、電信・コンピューター、情報サービスなどの知識集約型サービス産業はいずれも 20%以上の伸び幅で成長し、中国のサービス輸出の競争力が明らかに向上していることが伺える。

経済モデル転換とグレードアップの加速によりハイエンドの生産性サービス産業の輸入額は急増している。1～9 月、金融サービス、知的所有権使用料などのハイエンド生産性サービスの輸入は前年同期に比べてそれぞれ 22.1%、24%増加した。

このほか、1～9月に▽経済の高品質な発展により役務貿易全体が急成長している▽新興サービス産業の急成長により役務貿易構造が改善しつつある——などの特徴が見られている。

(出典：中国打撃侵權工作網 2018年11月8日)

★★★2. 「自動車企業専利イノベーション指数」発表、特許出願の質が改善★★★

10月29日、中国自動車技術研究センター有限公司が陝西省・宝鷄市で調査報告書「自動車企業専利イノベーション指数」を発表した。これによると、比亞迪、奇瑞、吉利、江淮、福田、長城、長安、北京汽車、中国一汽、上海集団などの自動車メーカーはイノベーション能力が強く、中国自動車企業専利イノベーション指数トップ30社となっている。

中国自動車工程学会・知的財産権分会の秘書長を務める中国自動車技術研究センター有限公司の傅連学・情報所副所長が発表会で「自動車企業専利イノベーション指数」について説明を行った。中国の自動車メーカーは特許ポートフォリオを絶えず推進し、特許出願の品質に明らかな改善が見られているという。一方、世界の先端企業との格差を縮めるためには、国内メーカーが新エネルギー車、エンジン、電子電気などの分野で特許の掘り下げ、ポートフォリオを一層強化する必要があると、傅副所長が指摘した。

(出典：国家知識産権戦略網 2018年11月2日)

○ その他知財関連

★★★1. 厦門で「インターネット知的財産権とイノベーション大会」が開催★★★

11月3日～5日、「2018中国EUインターネット知的財産権保護とイノベーション大会」が福建省・厦門で開催された。中国産学研協力促進会傘下の反権利侵害模倣品・イノベーション戦略連盟と欧州連合知的財産庁(EUIPO)が共催した。

国家市場監督管理総局、EUIPO、中国(福建)自由貿易試験区厦門エリア、中国知的財産権研究会の責任者が開幕式に出席し、演説した。参会者らは、インターネットにおける知的財産権保護の新しい方法と経験、政府の知的財産権保護体制、模倣品の鑑定・評価メカニズム、営業秘密保護、知的財産権保護の国際化などのテーマをめぐって交流を行った。

また、大会のサブフォーラムでは「一帯一路」構想における知的財産権保護、中国とEUの中小企業が直面する知的財産権問題、インターネット上の知的財産権保護の主導的防御手段などについて議論が交わされた。

(出典：中国打撃侵權工作網 2018年11月5日)

★★★2. 中関村フォーラムが北京で開催、知的財産権に注目集まる★★★

11月2～3日、2018年度中関村フォーラムが北京で開催され、中国、米国、英国、ドイツ、フランス、イスラエルなどの13国からの企業関係者、投資家、専門家など1000人以上が参加した。今回フォーラムで初めて設けられた知的財産権サブフォーラムに、政府部門、世界知的所有権機関(WIPO)中国事務所、大学、研究機関、企業、知的財産権サービス機構、業界協会の代表が一同に会し、イノベーション協力と知的財産権運営の新たな方法、手段などをめぐって議論を交わした。

国家知的財産権戦略専門家チームのメンバーである中南財経政法大学の呉漢東元学長、WIPO中国事務所の陳広兵主任、国家知識産権局・知的財産権運用促進司の趙梅生副司長、英国IP GROUPのAlan Aubrey最高経営責任者がサブフォーラムのテーマ「イノベーション協力&知的財産権運営」についてそれぞれ演説を行った。英国国際通商省と北京中関村ソフトウェアパーク有限公司は協力覚書を締結し、科学技術イノベーションと関連サービス分野で交流、協力を深めていくことで合意した。

(出典：中国知識産権資訊網 2018年11月2日)

★★★3. 中国自動車産業知的財産権年会在陝西・宝鷄で開催★★★

10月28～30日、陝西省・宝鷄市で中国自動車知的財産権年会と自動車技術共有・移転大会が開催された。中国自動車工程学会、中国自動車技術研究センター、宝鷄市人民政府、陝西省工業・情報化庁が共催した。

年会のテーマは「自動車産業のイノベーションと発展を駆動する知的財産権」。国家知識産権局、国家工業・情報化部、陝西省政府関連部門、中国自動車工程学会、中国自動車技術研究センター、国内外の自動車企業からの専門家は知的財産権の保護強化、自動車産業のモデル転換・グレードアップ促進、自動車関連の知的財産権の管理と情報活用、純粋な電気自動車の主要技術特許の分析・研究、高い価値を有する特許の育成——などの課題について討議を交わした。会議ではまた、中国自動車企業専利イノベーション指数が発表された。

(出典：中国知識産権资讯网 2018年11月2日)

【中国 IPG のご紹介】

中国 IPG (Intellectual Property Group in China、中国知的財産権問題研究グループ) は、在中日系企業・団体による、知財問題の解決に向けた取り組みを行うことを目的とした組織です。

主な活動には、年5回開催する予定の全体会合(メンバー間の情報交換や各種講演を実施)や、特定テーマについての検討を行う専門委員会、会員の所属業界における知的財産問題についての情報交換を行うWG等があります。その他、知財関連法令についての意見募集への対応等を行っています。

ご関心・ご参加をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

★中国 IPGweb サイト：<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/ipg/>

★中国 IPG 事務局(ジェトロ・北京事務所 知的財産権部)

Tel: +86-10-6528-2781、E-mail: pcb-ip@jetro.go.jp

【配信停止・配信先変更】

配信停止を希望される場合は、下記の URL にアクセスの上で「Unsubscribe」ボタンを押して下さい。配信先を変更したい場合は、配信停止をした上で新たな E メールアドレスをご登録ください。

https://www.jetro.go.jp/mail5/u/!?p=tTW_GIj5ntM53_3CF1ZAZAZ

【ご感想・お問い合わせ】

本ニュースレターに対するご感想・お問い合わせ等がございましたら下記までご連絡下さい。

日本貿易振興機構(ジェトロ)北京事務所知的財産権部

TEL : +86-10-6528-2781

E-Mail : pcb-ip@jetro.go.jp

【著作権】

本ニュースレターの著作権はジェトロに帰属します。

本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

【免責】

ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。

本文を通じて皆様に提供した情報の利用(本文中からリンクされているウェブサイトの利用を含みます。)により、不利益を被る事態が生じたとしてもジェトロはその責任を負いません。

【発行】

日本貿易振興機構(ジェトロ)北京事務所知的財産権部
